

奥能登国際芸術祭2017

Performing Arts Event PROGRAM

奥能登国際芸術祭
SUZU 2017
OKU-MOTO TRIENNALE

須受八幡宮「能舞台」修復記念

日時 9月9日「土」 開場17時、開演17時30分

会場

しょういんすず
正院・須受八幡宮

和泉流宗家

Encl. 三宅藤九郎による「寿受狂言の会」



出演 | 二十世宗家 和泉元彌、史上初女性狂言師 和泉淳子、十世 三宅藤九郎、和泉元聖、和泉和秀、和泉采明、和泉慶子
料金 | 前売2000円 / 当日2500円(当日作品鑑賞パスポート提示で2300円) / 小中高生前売、当日とも1000円

すず 須受八幡宮「能舞台」修復記念 和泉流宗家 incl. 三宅藤九郎による 「寿受狂言の会」

「狂言師・三宅藤九郎」は、和泉流の職分(弟子)家の筆頭として、宗家・山脇和泉家に師事し、藩政期には京住みのまま加賀藩主・前田家の『お手役者』(お抱え狂言師)として代々の藩主、奥方ご観覧の舞台の御用を勤め、また加賀藩ご領地内においても弟子の育成につとめてきた。十世三宅藤九郎が和泉流宗家と共に珠洲、正院の須受八幡宮に残る能舞台にて狂言の公演を行う。

演目「狂言」樋の酒ひのさけ、「八幡前」ほか解説トーク

出演「二十世宗家 和泉元彌、史上初女性狂言師 和泉淳子、

十世 三宅藤九郎、和泉元聖、和泉和秀、和泉采明、和泉慶子

日時「9月9日」土 開場17時 / 開演17時30分

会場「正院・須受八幡宮」

料金「前売2000円 / 当日2500円(当日)

作品鑑賞パスポート提示で2300円)

小中高生前売・当日ともに1000円

定員「200名



会場紹介 | 須受八幡宮神社の能楽は、鎌倉時代後期に起こり、途中加賀藩前田家の支援もうけながら、明治30年まで続いたといわれる。現在は秋季例祭に尉と姥の人形が飾られ、奉納太鼓等が演じられるにとどまる。今回、氏子の勧進、珠洲市の支援により、床と壁などの修復が行われる。

須受八幡宮「能舞台」竣工祭 次第

午後3時半 神事

午後4時 謡曲奉納 舞囃子「高砂」 珠洲謡曲会
仕舞「鶴亀」 七尾謡宝会

午後5時半 和泉流宗家 incl. 三宅藤九郎による「寿受狂言の会」

チケット

□前売券 | パソコン / 携帯 / スマートフォンからオンラインでお買い求め頂けます。

・イープラス <<http://eplus.jp>> にアクセス & 「奥能登国際芸術祭」で検索!

・窓口で購入: ラポルトすず・道の駅すずなり

□当日券 | 当日券はイベント会場でのみ販売します。

お問合せ

奥能登国際芸術祭実行委員会事務局

〒927-1214

石川県珠洲市飯田町13-120-1

TEL: 0768-82-7720

アクセス

○飛行機利用の場合 | 羽田空港～のと空港(約1時間)

→ふるさとタクシー(乗り合いタクシー)、特急バス、レンタカーで約40分

○新幹線の場合 | 東京駅～金沢駅(約2時間30分)

→特急バス: 珠洲市まで3時間

→レンタカー: 珠洲市まで2時間半

→電車: 和倉温泉駅まで特急約1時間

和倉温泉駅から、穴水駅まで約40分

穴水駅から特急バス約1時間

→穴水から特急バス約1時間



須受八幡宮: 珠洲市正院町正院20-35